

助教の公募(細胞生物学講座 分子代謝生理学分野)

東北大学

<http://www.metab.med.tohoku.ac.jp/>

東北大学大学院医学系研究科 分子代謝生理学分野

国立大学

[機関の説明(募集の背景、機関の詳細、プロジェクトの説明等記入)]

【専門分野】動脈硬化、脂質代謝異常症、2型糖尿病、サルコペニアなど肥満ともなう生活習慣病は21世紀の生物医学上の大きな課題となっています。生活習慣病の発症は遺伝的素因のみならず環境因子によるゲノムの後天的な変化「エピゲノム」が重要とされています。当分野では、環境からの刺激に対するエピゲノムを介した応答適応機構の解明を基盤に生活習慣病の克服に取り組みます。今回の公募では、動物と細胞生物学を行える優れた意欲と熱意のある方を求めています。

【採用方針】研究室の研究テーマに沿った研究を実施していただける方であれば、医学部出身者はもとより出身学部を問いません。エピゲノムを軸とした代謝学・血管生物学・神経生理学あるいはゲノム編集分野の背景がある方に加えて、今後これらの分野に新たに取り組もうとする方も歓迎いたします。

[仕事内容(業務内容、担当科目等)]

(1)細胞・分子生物学、動物実験、エピジェネティクス、インフォマテクス解析による実験・研究

(2)実習・講義 (生理学)

[募集人員]1名

[着任時期]

2021年4月1日までのできるだけ早い時期

大分類:医歯薬学

小分類:代謝学・内分泌学・生理学一般

助教

常勤(任期あり)

①本学・本研究科での教育・研究に熱意を持っている方。

②着任時に博士の学位を有し、上記の専門分野の研究業績がある方。

③責任感と協調性を持って、生活習慣病におけるエピゲノム研究を推進できる方

勤務形態:常勤(任期あり2026年3月31日、再任あり。)

給与:本学給与規程等によります。

社会保険:国家公務員共済組合、雇用保険加入

その他、国立大学法人東北大学特定有期雇用職員就業規則等による

開始日:2020年10月6日～

終了日:2020年11月31日 必着

コメント:適任者が決まり次第、募集を締め切ります。

[応募方法(書類送付先も含む)]

①履歴書 (E メールアドレス記載、写真貼付必須) ※様式は下記よりダウンロードしてください。 <https://www.sed.tohoku.ac.jp/media/files/recruit/rireki.pdf>

・大学卒業以後の学歴を記載し、博士学位については、取得年月と博士学位名および授与機関を記載してください。

・職歴すべてを記入し、期間、職名、職階等についても記載してください。

・所属している学会を記載してください。

・本人の署名または記名押印、本籍地または国籍を記載してください。

・問合せを行う際の電話番号およびメールアドレスを記載してください。

②教育研究業績書

・著書、論文、学会発表(国際学会、招待講演等)、特許等の区分をして明示してください。

・教育歴については大学・学部・学科、担当科目名称、期間等を記載してください。

③主要研究業績

・著書または論文5編以内(コピー、抜刷可)。

④研究の概要等を記載した書類(書式自由)

・現在までの研究内容の説明と今後の研究計画の概要(1,500字程度)および本学部において教育・研究を希望する理由(1,000字程度)を記載してください。

⑤科研費等の研究補助金の取得状況を記載した書類(書式自由)

⑥参考意見を伺える方の氏名等を記載した書類(書式自由)

・応募者について参考意見を伺える方2名の氏名・所属・連絡先ならびに応募者との関係を記載してください。

[選考内容(選考方法、採否の決定)、結果通知方法]

書類選考の上、面接を行います。面接の日時については後日連絡します。

面接に伴う交通費等は自己負担とします。

提出書類等の返却は致しません。

応募書類は本選考のみに使用し、選考終了後は責任をもって破棄致します。

選考結果は郵送にてお知らせ致します。

※応募書類の提出時は『簡易書留』とし、封書には「分子代謝生理学分野教員応募書類在中」と朱書きして下さい。

[連絡先(担当者所属、役職、氏名、E-mail、電話番号)]

〒980-8575 仙台市青葉区星稜町 2-1

酒井 寿郎

E-mail: jmsakai[at] med.tohoku.ac.jp ([at]を@に変えて下さい)